

リノベーション高遠まちづくり塾の開催

取組に至る背景・事業の目的

- ・伊那市高遠町の人口は約 5,900 人、人口減少は進み、高齢化率は 35%を越えるなど、少子高齢化は急速に進行しており、商店の消滅、耕作放棄地の増加や地域経済の停滞などの課題を抱えている。
- ・人口減少等の進行に伴い、空き家の増加・取り壊しなどによる地域文化や歴史、地域力の喪失なども進行している。
- ・上記の課題解消のために、古くからある高遠町らしい町並みを活用し、行政や地域住民が一丸となって、持続可能な未来に向けたまちづくりを検討する場を設けた。

事業内容

- ・平成 29 年 7 月から全 6 回のまちづくり塾を開催し、各地の実践事例、高遠町の資源、まちづくりの進め方、協働のまちづくり等について、講師から話題提供をいただき、意見交換を行った。
- ・全 6 回の塾の集大成として、平成 30 年 2 月にフォーラムを開催した。
- ・フォーラムでは、塾での学びを踏まえて 11 名のプレゼンターが高遠町活性化へ向けた活動案を提案した。



【まちづくり塾】

事業効果

- ・塾受講者は、高遠町の住民のみならず、広域から参加を得ることができ、高遠の地域づくりの担い手のすそ野を広げることができた。参加者のうち長野県外からの参加が 18.0%あり、高遠町のまちづくりを考える機会を提供することで、単なる交流にとどまらない関係人口の獲得につながった。
- ・具体的なまちづくり活動案を提案することができた。
- ・本塾開催によって、空き家オーナーと意見交換することができ、今後の活用の可能性を拓くことができた。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- ・関係人口の獲得及び活動提案を踏まえて、高遠町の魅力を生かした街づくりを行う。
- ・まちづくり活動提案について、広報、人のマッチング、地域のマッチング等の支援を行う。
- ・空き家オーナーとの意見交換及び調整を引き続き行う。

【選定のポイント】

高遠町にある蔵や街並みなど、その地域が持つ魅力的な資源を活用する取組であり、当団体が目的とする持続可能なまちづくりは、今後衰退が進む各地域において取り組むべき事項であることから、住民ニーズ・公益性を特に評価した。

団体名 高遠コンサベーションプロジェクト (伊那市)	事業タイプ	ソフト事業
連絡先 代表 黒河内 貴	事業費	1,084,504円
メールアドレス ito@ceis.or.jp	支援金額	866,000円